

●● 賀津也の部屋 ●●

国会まわしの妙

「しんば国対委員長！ナントカしてくださいよ!!」私を担当している「番記者」の何人かが涙目で訴えてきた。「文句があるなら官邸に言ってくれ！うちの秘書さんたちも泣いてるんだから!」

冗談3割・本音7割のこの会話の原因は国会閉会日の2日前、6月22日に安倍内閣が決定した会期の延長だ。国会の延長は間々あることだが、問題は長さ。安倍内閣が決めた延長幅は9月27日までのなんと95日間!!前代未聞の超大幅延長だ。

かつては幾度でも会期延長が許された国会だが、昭和32年に開会された第28回通常国会で国会法が改正され、通常国会の延長は1回、臨時国会と特別国会の延長は2回迄となった。国会法で定められた通常国会の会期は150日間であるから、95日の延長で合計245日間の長〜い国会審議ということになる!ちなみに、歴代の長期国会第1位は、第71特別国会(昭和47年)の280日間だが、この時は、日本赤軍のドバイでのハイジャック事件や金大中事件などが発生した大変な国会だった。今回の延長国会は、通常国会では過去最長。当然、国会の召集が1月からに改正された平成4年以降でも最も長い延長幅となった。

「マスコミと国会スタッフの家族を敵にまわすなよ」私はまだ当選一回の頃、当時のベテラン議員から教えて頂いた「国会まわしの妙」だ。我々の仕事には定時の出勤時

間や終業時間などは存在しない。土日もないし、有給休暇もない。つまり、オンとオフがほとんどないのが実情だ。朝の7時前から宿舎を出て、帰宅が午前様というのは日常茶飯事だ。議員たちは仕事であるから、覚悟してその環境下で公人として働くのは当然だが、大変なのは議員に付き合わなくてはならない「秘書」「国会職員」「党職員」「記者」さんたち。この方々も仕事と割り切って頑張っているが、更に大変なのはその家族。特に議員たちに合わせて行動しなくてはならない秘書さんや記者さんは、家庭のイベントや子供の行事を犠牲にせざるを得ず、家族に「借り」を作りまくっているのだ。そして、日頃の後ろめたさを一気に挽回し、「借り」を返せるチャンスが「お盆休み」と「お正月休み」なのだ。しかも「国会」という職場は、全国各地の地方から人が集まっている「田舎者の大集合体」である。国会周辺で働く人々にとって、盆暮れは、唯一故郷に帰省が出来る貴重な機会でもある。記者さんたちが呆然とするのも無理はない。前述の先輩議員の忠告は「秘書と記者に嫌われたら仕事が出来ない!」という意味だ。

その貴重なお盆休みが今年は潰れた。ついでに9月19日からの5連休のシルバーウィークも仕事になった。「家族に見放される…」某民放の記者さんが放心状態で呟いた。思わず笑ってしまったが、彼の目は真剣そのものだった。日頃は政府与党に好意的な某新聞社の記者が言った。「いくら安倍総理でも、これだけは許せない…(涙)」

余談ですが、私、榛葉と、しんば事務所のスタッフは、いつでも働く気満々ですからご心配なく!

日頃より「歩む会」の皆様にはご指導とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。皆様のおかげさまで、私の国会議員生活も15年目に入ることができました。「歩む会」あつての「参議院議員しんば賀津也」です。初当選したときの志を忘れることなく、引き続き努力精進してまいります。

さて、私が参議院民主党の国会対策委員長に就任したのが、一昨年10月の第185回臨時国会でした。以来、第186回通常国会、第187回臨時国会、第188回特別国会、第189回通常国会と2年間で五つの国会を国対委員長として務めてまいりました。すべての局面で大変難しい舵取りを任せられました。とりわけ9月27日までの戦後最長の延長幅となったこの通常国会は、与野党激突しての本格論戦の国会になりました。

その中でも、戦後の憲法解釈を変更し、集団的自衛権の一部を容認する安全保障法制の問題は今国会の最重要課題のひとつです。与野党が衆議院の特別委員会に招致した憲法学者の参考人が「憲法違反」と断じるほど疑義を抱えた法案を、与野党は衆議院で強行採決しました。参議院の国対委員長として私が声高に政府与野党に抗議をしたのは、野党が反対する法案を与野党が強引に成立させようとしたからではありません。日本は民主主義国家ですから、いつかは議会で結論を出さなくてはなりません。

「予定していた80時間の審議時間を超えたから」とか「これ以上審議すると自民党の支持率が下がるから…」という極めて利己的な与野党の都合で成立させてはいけないということ。安倍内閣の閣僚の一人である石破茂大臣ですら「国民の理解が深まったとは言いがたい」と強行採決に遺憾の意を表し、衆議院で強行採決した安全保障特別委員会浜田靖一委員長においては「10本もの法律を一つにまとめて審議することに無理があった」と自戒の念を込めて発言していました。この法案は安全保障という国家の存立や国民



7/12 政治セミナーにて

の生命に直結する問題です。参議院では賛成派も反対派も法案の前身がより鮮明になる議論をしなくてはなりません。この他にも、今国会での重要な論点があります。125万件もの個人情報流出させてしまった年金機構の漏れた年金問題や労働者派遣法を始めとする労働者保護ルールの問題。予定建設費をはるかに上回るずさんな計画が露呈し、政府の対応が二転三転した新国立競技場の建設問題。そして、これらすべてに共通するのが、生活をして税金を払う側の論理でなく、集めた税金を使う側の論理で物事を進めている為政者の態度なのです。数の力にあぐらをかいた政治は許されません。あくまで主権者は国民・納税者であり国会議員はその代議員であることを忘れてはならないのです。だからこそ、我々野党も旧態依然の「反対のための反対」や審議拒否を繰り返す野党であつては絶対になりません。常に対案を用意し、徹底した議論を尽くしたいと思えます。

国会運営やその戦略戦術の責任はすべて国会対策委員長にあります。仲間を信じて、ブレずに全力を尽くし、最終的な責任は自分が取る覚悟です。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

参議院議員 榛葉賀津也

2015年後半 活動計画

●● グラウンドゴルフ大会 ●●

■日時 9月27日(日) 午前8:30~(午前8:10受付開始)

■会場 小笠グラウンドゴルフ場 (菊川市下平川506-1)

■参加費 500円

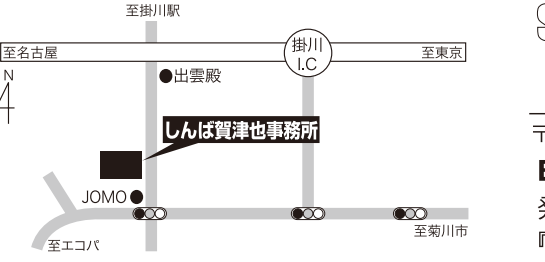
- どなたでもご参加いただけます。
- 先着200名で締切とさせていただきます。
- お問い合わせ、お申し込みは事務所までご連絡ください。

『しんば賀津也と歩む会』会員募集中!

私たちと一緒に榛葉賀津也の政治活動を支援していただけ方を募集しています。年会費は2,000円です。詳しくは事務所までお問い合わせください。なお、しんば賀津也ホームページからお申込みいただけます。皆様のご入会を心よりお待ちしております。

歩む会ならびに党員・サポーター登録の御礼

過去最高だった昨年の実績を更に上回る皆様にご登録をいただきました。誠にありがとうございました。これからも皆様のお気持ちを胸に、初心を忘れず日々精進してまいります。



しんば賀津也と歩む会

〒436-0022 静岡県掛川市上張862-1 FGKビル TEL 0537-62-3355 FAX 0537-62-3356

E-mail go@k-shimba.com <http://www.k-shimba.com>

発行責任者: 会長 松下知生

『しんば賀津也と歩む会』は榛葉賀津也の後援会です。

2015年前半 地元活動報告

1/24(土) 歩む会 総会・新年会

昨年の活動を振り返るとともに、2015年活動計画が承認され、新年度がスタートした。また、1月～2月にかけて岳駿支部をはじめとする各支部の新年会を開催した。



【掛川グランドホテル】

2/17(火) 湯島天神&東京ドームらん展ツアー

恒例のらん展ツアーを開催。春の訪れを感じさせる湯島天神の梅まつりを見学後、お楽しみ韓国ランチとアメ横散策へ。東京ドームのらん展では大賞品の素晴らしさに圧倒された。



【東京ドーム】

【湯島天神】

3/7(土) 国政報告会



【菊川市アエル】

民主党政調会長 細野豪志衆議院議員を講師にお招きし、恒例の国政報告会を開催。参加者千名を超える熱気ある報告会となった。

第18回統一地方選挙

4/12と4/26の2回に分けて行われた首長及び議会議員の改選により、多くの仲間の皆様にご当選された。暴走を続ける与党に歯止めをかけるため、皆様と毅然とした対応で臨んでいきたい。



7/7(火) 浜岡原子力発電所見学



防波壁をはじめとする数々の安全性向上対策工事の現場を見学。初めて目にした参加者も多く、理解を深める良い機会となった。

7/12(日) 政治セミナー



西村まさみ参議院議員を講師にお招きし、2015政治セミナーを開催。直面する政治課題と医療改革、歯の健康について講演をいただいた。榛葉議員は安全保障関連法案の問題点について言及した。



【ホテルアソシア静岡】

県内各地で講演

現在進行形の諸問題から国会での裏話まで、盛りだくさんの内容を県内各地で講演。



国会発

東 奔 西 走

世界のSHIMBA!
日本の榛葉!
静岡のしんば!!



1/26(月) 第189回通常国会開会



6月24日までの会期であったが、安倍内閣により9月27日まで、95日間の会期延長を決定。通常国会では過去最長の会期となる。

6/11(木) リアルジャパンプロレス10周年記念興行

コミッションナーを務めるプロレス団体が10周年をむかえた。引き続きプロレス界の発展に尽力していきたい。



3/9(月) 貨物鉄道モーダルシフトプロジェクト最終答申策定

2012年の第1回目より座長を務めてきた貨物鉄道モーダルシフトプロジェクト。9回に渡る会合では、様々な機会を得た貴重な声を基に、現場目線での議論がなされた。



6/12(金) 労働者保護ルール改悪阻止を求める集会

あいにくの雨模様であったが、この日、与党による強行採決の動きもあり大変熱の入った活気ある集会となった。



3/27(金) 新たな国立公文書館の建設実現に関する要請



国民の皆様が公文書に親しみ、自由に手軽に利用できるよう、山崎参議院議長、中川参議院議院運営委員長に要請書を提出。

6/25(木) 表敬訪問



日本で様々な公共奉仕に献身されているイスラエルのラビ・ビンヨミン・イェヘスケル・エデリ氏を官邸にお連れし、菅官房長官への表敬訪問を行った。

5/20(水) 6/17(水) 党首討論



国家基本政策委員会委員として出席。安保法制や参議院選挙制度改革について議論が交わされた。

国会見学



多くの皆様が国会を訪問。国会日程が許す限り、国会案内・国政報告会を実施している。

5/20(水) お茶振興議員連盟総会

お茶の価格低迷など業界が抱える問題点や、輸出を含めた消費拡大策について、関係団体の皆様と意見交換させて頂いた。



国対委員長会談



7月15日、「安全保障関連法案」の強行採決を受け、野党国対委員長会談、民自国対委員長会談が頻りに開催された。



榛葉先生のパワーと人を惹きつける気さくなお人柄で、お会いするいつも元気をいただいています。政治向きの言葉ではなく、生活者によりわかりやすい言葉でお話くださり、私たちのため、静岡のため、日本のために情熱を持って活動されている榛葉先生から、いつも熱い想いが伝わってきます。先日、安保法案が強行採決され、このまま日本は何処に向かって行ってしまうのだろう...と不安を感じます。重要な法案にはきっちり時間をかけてほしいと思いますし、国民にも説明不十分の強行な採決をすべきではないと思います。強引な国会運営をしようとする安倍政権に国会対策委員長の榛葉パワーで立ち向かって行ってください...榛葉ファンとして応援しています。そして来年夏の参院選から18歳以上の若者に選挙権が与えられることになりました。榛葉先生には若い世代を惹きつけるパワーがあります。ぜひ新しい有権者たちを巻き込んで民主党を盛り上げてほしいと思います。情熱と実行の熱い想いをを持った榛葉先生のご活躍をこれからも期待しております。



富士宮市 佐野織枝